

令和8年度用

改訂新版

社会の新研究

青森県 高校入試情報

令和7年度青森県入試の全体傾向

●大問構成、問題数について

○大問は地2・歴2・公2・地歴公1の計7問

○小問は42問（昨年43問）

○文章記述問題は6問（昨年は7問）

●出題傾向について

○各分野ともバランスよく満遍なく出題されている。基本的な知識を問う問題が多いが、小問数が多く文章記述問題も多めなので時間配分に注意が必要。

○地理ではさまざまな統計表やグラフが使われている。資料の見方を練習しておく。

○歴史では並べ替え問題、公民では企業の利潤を求める計算が見られた。

★青森県の入試は、『社会の新研究』でバッチリ！

■ 資料読み取り問題の出題

●例年、資料や統計から読み取れること・考えられることを記述させる問題が出題されているため、資料の読み取り対策と記述対策の両方が必要。

➡

新研究で対策！

●解説ページの「入試によく出る資料読取」コーナーで、よく出る資料の読み取り問題を出題しています。

●「フォロー特集 わかる！さまざまなグラフの読み取り方」(p. 24～25)で、いろいろなグラフの読み取り方をおさえられます。

●「資料活用問題に強くなろう！」(p. 178～183)は、例題で読み取りの基礎をおさえたあと、最新入試問題で練習ができるように工夫しています。

■ 歴史の時代関係の問題の出題

●例年、歴史でおもなできごとの並べかえ問題が出題されているため、テーマごとに歴史の流れをおさえる対策が有効。

➡

新研究で対策！

●「特集 流れでみる歴史」(p. 114～119)で、同時代のできごとを整理。「ふりかえりチェック 歴史年表編」(p. 120～121)で、すべての時代の流れをつかむことができます。

●「並べかえ問題に強くなろう！」(p. 190～191)では最新の入試問題で並べかえ問題がしっかり練習できます。

★新研究で出題した青森県の入試問題(令和7年度)

◆p.27 ◆p.51 大問4 ◆p.63 ◆p.93 大問2 ◆p.113 大問1 ◆p.190 大問2

◆p.201 大問2 ◆p.201 大問2 ◆p.201 大問2 ◆p.201 大問2

青森県の入試傾向に完全対応！
新しい『社会の新研究』をお薦めします！



★青森県入試出題内容別・形式別傾向分析(過去4年間)

		単元名／項目	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
出題内容別の傾向	地理的分野	世界の姿	●	●	●	●
		日本の姿			●	
		世界各地の人々の生活と環境	●	●	●	
		アジア州	●	●	●	
		ヨーロッパ州, アフリカ州	●	●		●
		北アメリカ州, 南アメリカ州, オセアニア州	●	●	●	●
		地域調査の手法				
		日本の自然, 人口	●	●	●	●
		日本の資源・産業, 世界との結びつき	●	●	●	●
		九州地方, 中国・四国地方	●	●		
		近畿地方, 中部地方	●			●
		関東地方, 東北地方, 北海道地方	●		●	●
		歴史的分野	文明のおこりと日本		●	
	古代国家の歩み		●	●	●	●
	中世社会の展開		●	●	●	●
	ヨーロッパ人との出会いと全国統一		●	●		●
	近世社会の発展		●	●		●
	近代ヨーロッパと日本の開国		●		●	●
	近代日本の歩み		●	●	●	●
	二度の世界大戦と日本		●	●	●	●
	現代の日本と世界		●	●	●	●
	公民的分野		現代社会と私たちの生活		●	
		個人の尊重と日本国憲法	●	●		
		現代の民主政治, 国会		●		
		内閣・裁判所, 三権分立		●	●	●
		地方自治	●		●	●
		消費生活と流通・生産, 市場経済と金融	●	●	●	●
		財政, 国民生活と福祉	●	●	●	●
		地球社会と私たち		●	●	
	分野統合		●	●		●
出題形式別の傾向	大問数	7	7	7	7	
	小問数	44	42	43	42	
	記号解答	15	17	15	19	
	用語記述	22	19	21	17	
	文章記述	7	6	7	6	
	作業・作図					